## 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度決算)

事	<u>業</u> コー	· ド	530	_	3	_		作	成者氏名		玉	 光 博己	連	絡先 08	33-72	2-1485
	事務事		T			理運営	事業	,				担当調				水道課
予算	費目	下水道事業特	別会計	款	1 =	下水道事	<b>事業費</b>		項 1	下水流	道事業	<u></u> 書		一般管理費	 }	
第2次 基本目標 コ 4 頂 自然と都市が済					市が潤い	ハゆたかに調和したまち							第2次総合計画			
	計画	重点目標 政 策	ド	1 4			子り育て k域の保全		めに						154	
	· · · · · ·	下水道処理	区域内			1	意図		汚水を処理場	見へ流	ナたみ	の下水道施証	ひを維持管理	1 汚水を9		,
対	象	1 水道之圣	<u>⊏</u> -%(1.1	v) <u>ш</u> и	4		対象をどの	ように	IB 14 1- 1	こで、	下水道	処理区域内の	の住民の衛生	的な生活環境	きを維持	寺す
-t-7/r	· <del></del>	公共用水域	の水質	保全や	∘、快適⁻		たいのか) な生活環	境の例	【 <sup>∕3</sup> 。 杲全のため、居	南流均	或下水	道事業との選	連携を図りな	がら、下水道	道の普及	及指導
	事業 既要	や、管渠等	の適正	な維持	F管理に 勢	努める。										
	!	,					1 001		1				<u> </u>	VIT IOU		
	事	務事業の原	<b>以果指</b>	摽		単位		F度 績	実績		<u> </u>	達成度	令和4年度   目標		団体等 漬値等	
ل																
◆事	務事業 	(予算事業				•		<u> </u>		活動:	指煙・	事業費(千	-田)		業	重
番号		(		務の名	ろ称 対象業務	۲)			指標名	1白 到7				2年度目標	76	点業
			) = 1] 期	ル計画> 	刈家業務	<del>)</del>			事業費		_	30年度決算				務
1	管渠、	ポンプ場な	どの維	持管理	<b>E</b>				汚水水量 事業費		千㎡ 千円	4, 387 36, 373	4, 279 28, 562		В	0
2	水洗便	更所改造融資	あっせ	ん (貸	*付実行	)	•		貸付件数		件	0	C	_		0
								事業費 利子補給件数		千円 件	0	C				
3	3 水洗便所改造融資あっせん(利子補給) ●							事業費		千円	2	C	_			
4	周南流	<b>范域下水道維</b>	持管理	費負担	旦金				事業費		千円	321, 739	283, 846	<del>-</del>	A	0
5									事業費		千円					
6																
7									事業費		千円					
									事業費		千円					
8									事業費		千円					
9									事業費		千円					
10																
									事業費		千円					
11									事業費		千円					
12									事業費		千円					
13									事業費		千円					
14																
									事業費		千円					
15				· 144 ===	光串へ	<u>∧∋ı /</u> ~	r.m\		事業費		千円	050 111	010 100		_	
	直接事業費の合計(千円) A 業務量(人工数)							358, 114	312, 408 2. 45人		]					
		職員人	件費等	<b></b>				(千円						47 A:達成済		
			人件費	を含	む総事	業費(『	千円)	A+1	В				326, 255	目標水準プラス見直し 5 B:実施手法の要改善		
									庫支出金					C : 目標水準~	イナス見	
			日本公正	ı⇔≕⊓					支出金				実施手法の見直し			
			外你	内訳					方債    の他					<ul><li>D:業務廃止・完了の意</li><li>E:元年度を以て廃止・糸</li></ul>		
						一般財源					326, 255 —: 一時的に実施無し					

「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由

毎日の生活汚水を処理する下水道施設の機能維持を図ることは大変重要であるため。

### ◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 下水道の整備は年々進んでおり、また、施設の老朽化が懸念される状況で、衛生的な生活環境を確保できるよう施設の機能維持を図ることができている。 事業としては、下水道施設の機能を健全に維持していくことが目的であることから、成果目標は設定していない。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 現状の下水道施設維持管理方法は、毎年度、点検調査を行っていることから大きな事故にはつながっておらず、維持管理の点からは有効である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 下水道施設の維持管理事業は周辺水域の環境保全及び住民の環境衛生を保持するため必要不可欠であり、市が事業を実施することは妥当である。

◇担当課における改善等の案◇ (※以下、意思形成過程につき非公開)

事務事業執行責任者 (課長名)	中本 信一	最終評価責任者 (部長名)	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------

# 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度決算)

事	業コー	- ド l	530		6	_		作品			山山	口 正人	連	絡先 0	833-72	2-1476
	事務	事業名	単独	事業								担当調	<del>-  </del>			水道課
予算	費目	下水道事	<b>上</b> 業特別:	款	1		事業費		項 1	下水道事	事業	費	目 2	下水道事	<b>業費</b>	
第2次 重点目標 1 目 自然を守り育て																
		政 策		4									11	W. +	154	
対	象	下水道計画 業所	区域内	の一般	设家庭及		意図 (対象をどの したいのか)	トちに	下水道計画[ に、老朽化 <sup>*</sup> の保全と良好	する下水道	<b>直施</b>	設の改築・夏	更新を行い、	道整備を進る 公共水域に	めると。 おけるス	とも 水環境
	事業既要	下水道の末 の老朽化対				家庭や	事業所から	排出さ	れる汚水をタ	心理場へ流	です?	ための下水道	1施設の整備	、整備された	と下水道	<b>道施設</b>
		耳務事業の月	成果指	標		単位		年度		元年度		\d-1.	令和4年度		団体等	
エルド		率(補単計)	942/43/11					₹績 72.0	実績	目標	$\neg$	達成度	目標		績値等	<u> </u>
下小儿	旦登佣=	半(佣早訂)				%	'   	73. 9	74. 1	14	4. 1	100.0%	75. 9	<u>'</u>		
L_																
◆事	務事業	(予算事)				<b>务◆</b>		1		活動指標	亜 •	事業費(千	-円)		業	重
番号		(	業 第=行動	務の名 助計画		務)			指標名	単	位	30年度実績	元年度実績	2年度目標	務評	点業
1	か 土 コ	下水 道 饰 設東	文借	:					事業費 整備面積	h	na	30年度決算 2.1	1. 5	-	i — A	務
							I	事業費		·円 牛	76, 073 1	38, 080		-		
2		下水道施設 <i>₫</i>			<b></b>		•		事業費	千	·円	8, 716	13, 294	<u> </u>	- A	
3 周南流域下水道事業負担金						事業費		·円	25, 308	23, 133		A				
4	公営1	企業会計移行	<b>丁業務</b>				•		委託件数 事業費		牛 ·円	12, 229	- (	·	Е	0
5									事業費	千	·円					
6									事業費	千	·円					
7									事業費	手	·円					
8									事業費		·円					
9																
10									事業費		·円					
									事業費	千	·円					_
11									事業費	千	·円					-
12									事業費	千	·円					
13									事業費	千	·円					
14									事業費		·円					
15									事業費	千	·円					
			直	接事	業費の	合計		A				122, 326	74, 50		<u> </u>	
		職員力	(件費等	等		}	業務量 人件費	(人工数 (千円)	数) B		-	3.05人 【業務評価 19,057 A:達成済			1	
			人件費	骨を含	む総事	業費		A + B	i				93,564 B:実施手法の要改			
									車支出金					C:目標水準-	マイナス見	
			財源	内訳				県支出金 地方債						実施手法の見直し D:業務廃止・完了の意		
V-1 h/1/1 - 3 h/ /					その他						E:元年度を以て廃止・終					

### 「重点業務」欄で、最重点化、重点化する業務として選択した理由

下水道の未整備区域において、家庭や事業所から排出される汚水を処理場へ流すための下水道施設を整備することは、下水道の普及率を向上させ公共水域の水質保全と良好な生活環境の維持に繋がることから、最重点化業務として取り組む。また、重点化業務として公営企業会計へ移行したことにより、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図り、将来にわたり持続可能な経営を目指す。

#### ◆事務事業の評価◆

評価の視点	事務事業を実施した結果をそれぞれの視点で評価する。
事務事業の成果	成果指標を踏まえ、達成度や事業の効果を分析する。 下水道施設の整備は、計画的に行っており、目標数値を概ね満足していることから現状を維持していくことが適切である。 また、本市の下水道は分流式を導入し、生活排水による公共水域における水質の悪化を防止しており、事業としては適切である。なお、下水道施設の老朽化に伴う対応を、補助事業と調整を図りながら実施しているところである。
業務構成の有効性	事務事業の意図を達成するための業務の構成として適切かどうかを分析する。 構成する事務事業は、下水道の普及率向上、施設の維持を図るために必要であり適切である。
実施主体の妥当性	事務事業に対する市の役割、関係団体等(企業、地域団体、NPO等)の役割分担が適切かどうか分析する。 下水道事業は地方財政法第6条及び地方財政法施行令第46条により、特別会計を設けて独立採算の原 則のもと運営される公営企業に位置づけられていることから、実施主体は地方公共団体とすること が適切である。

◇担当課における改善等の案◇(※以下、意思形成過程につき非公開)

事務事業執行責任者 (課長名)	中本 信一	最終評価責任者 (部長名)	森重 哲昌
--------------------	-------	------------------	-------